会津放射能情報センターNEWS 19号

〒965-0877
会津若松市西栄町 8-36　日本基督教団若松栄町教会　教育館内
TEL&FAX：0242-23-9401　携帯：080-6015-8036
ﾒｰﾙ：info@aizu-center.org　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://aizu-center.org（2月末完成予定）
公式ブログサイト：http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/
Face book：「会津放射能情報センター」で検索。

中里見博さん講演会と連続学習会　　2015 年 12 月 11 日(金)～12 日（土）

「原発・戦争法・憲法」をテーマに中里見博さんの講演会と学習会を福島発！「女性の政治スクール」会津塾と九条の会･西栄町学習会との共催で行いました。

～中里見博さんのメッセージ～

「大飯原発と高浜原発の差止め訴訟で、憲法上の人権が原発を止めうることが示されました。安保法制は『成立』しましたが、集団的自衛権の『部分的行使』に止まっているのは『9条がまだ死んでいない』証拠です。憲法をよみがえらせ、原発と戦争を止める可能性はまだ残されています。」

＜プロフィール＞
1966 年福岡市生まれ。現在徳島大学総合科学部准教授。
専門は憲法、ジェンダー法学。
1999 年～2012 年３月、福島大学行政政策学類准教授。

危機意識の共有をもとに　～講演会･学習会に参加して～　　五十嵐　進

「原発・戦争法・憲法」というタイトルでの講演・学習会で、私にとって久しぶりに筋の通った論の展開と直近の行動提起にまでつなげる一貫性をもった話であった。「原発再稼働・戦争法発動から明文改憲へ」というサブタイトルがまさにその内容であり、多くの書物や新聞・テレビ・雑誌記事、公開データ、ブログ発言、HP、そして本来の学問的見地から三つお互いが密接な関係をもって策動されているという、現統治権力の一貫した指向性を指摘するものであった。

原発において大変な事態を引き起こし、汚染物質の処理をはじめ根本的な解決ができないでいて、そして電気は原発を再稼働しなくても足りているのに、なぜ再稼働に固執するのか。中里見氏は石破茂自民党議員の発言を引いて言う、核の潜在的抑止力（「核兵器を作ろうと思えば一定期間のうちに作れる」）維持のために原発は必要なのだ、日本の統治権力はいまだに日本を核兵器保有国にという野心があるから原発を手放さないのではないか、と。核武装の追求、核兵器製造に原発が不可欠なのだ、と。ベースロード電源などというもっともらしい位置づけでの再稼働の真意がここにある、というわけだ。ドイツが脱原発に舵を切ったのも核兵器への「意欲」がないことと経済界も含めて「脱原発倫理委員会」を組織し、倫理的問題として原発問題を受け止めたからである。もちろん経済界は再生可能エネルギーに将来の経済的可能性をみたからでもあるが。「戦争法」が発動すると脱原発は以上の理由でいっそう困難になる、という内容であった、と理解する。

しかし、「反原発」「戦争法廃案」は大事だが、今は「それよりも明文改憲阻止」のために「まずは参院選で３分の１の議席確保をめざす」運動こそが先決喫緊の課題である、と中里見氏は提言する。結局、選挙か、という思いもあるが、現政治体制においては、立法府への代表送り込みが最優先だ、ということであろうか。

第５回会津放射能情報センター総会報告

会津放射能情報センター代表　片岡　輝美

2011 年５月より、会津放射能情報センターは国内外からの多くの祈りと支援により、「安全かどうかは私が決める」と「あなたをひとりにしない。原発事故を繰り返さない」を二つの活動の柱として測定や情報発信、保養や学習会の企画などを行ってきました。

これまでのお支えに心から感謝いたします。昨年 10 月 31 日、会員 18 名の参加を得て開催された第５回総会の報告です。

＞＞＞第４期実施することができた主な活動です。

□測定などの活動

協賛金により日々の安心が支えられています。

- 会員の食品･土壌･運動着など測定費用千円に協賛金を充てさせていただきました。
- ３月末２台目食品放射能測定器 GDM15 を導入、年間約 320 件を測定。
- １検体（２ﾘｯﾄﾙ）12､000 円の会員尿検査費用を協賛金で行い、10 名が測定できました。
- SAFECAST 共同プログラム空間線量測定は累計 230 万地点を越えました。
- 日立アロカ製シンチレーションサーベイメーターは除染後の測定や引っ越し先の測定などに活用されました。また、機器の年１回の校正費用（８万円）も協賛金を充てさせていただきました。
- 東北教区放射能問題支援対策室いずみの協力により、外部放射線量累積測定バッジ２台を活用し小学生１名と成人男性２名の測定を行いました。

□情報発信などの活動

- 毎月発行タウン情報誌２誌にしゃべり場や健康相談会の案内を掲載。
- 会報や Facebook、ブログなどで活動や福島県内のニュースを発信。

□保養や学習会の企画

親子参加の保養や健康相談会、しゃべり場では心身のリフレッシュや情報共有ができました。

- 山崎知行内科医と小林恒司精神科医の健康懇談会や個別相談会を実施。
  特にしゃべり場に両医師の参加があり、話題も多岐にわたりました。
- 会員 20 歳以下の保養交通費として１万円が支給され、26 名が利用しました。
- 春の神戸保養や夏の神戸・北海道保養が実現しました。
- 新潟教会共同プログラム「にいがたはうす」を延べ 47 名が利用しました。
- 全国から野菜や米､水､手作り品など心も身体も温まる支援をいただきました。
- 30 を越える団体個人の来館者を迎え、福島の現状報告と証言を行いました。
- センター雇用専従スタッフ３名の人件費が支えられました。

＞＞＞これまでの活動を継続し、新たに加わる第５期活動計画です。

□帰還や移住した会員とのつながりを大切にします。

・会津若松市内温泉で一泊二日の「春休み再会保養プログラム」を持ちます。

・遠隔地とのスカイプ健康相談を行います。１月の山崎医師健康相談では、他県に住む会員の子どもが面談。信頼を寄せる同医師のアドバイスに、とても安心したとの感想が寄せられました。

□どの年齢層の健康も見守ります。

・近隣内科医の協力を得て全ての年齢層を対象とした甲状腺検査を始めます。

□「フクシマの今」を伝えます。

・新しいホームページを開始し、活動紹介や企画案内などを発信します。

・EMS（ドイツ連帯福音宣教会）支援により県内の情報を英訳し、ホームページに掲載。最新の情報を海外に発信します。

東京電力福島第一原子力発電所構内では、今日も困難な廃炉作業が続けられています。福島の原発核事故から何も学ばない司法は原子カムラに負け、日本政府は再稼働と輸出に邁進しています。どれほどの痛みがあれば、生命の尊さを分かってもらえるのでしょうか。ですが、声を挙げ続ける限り、敗北はしていません。第５期も『命どぅ宝』の社会を足元から作り出していきましょう。

センターへようこそ！

「福島の今を知るためには、現地に行くことがいちばん！」と、多くの方々がセンターを訪れてくださいます。来館された皆さんには、難航する廃炉作業などの現実や今も熱く被災者の想いをお伝えしています。原発事故を忘れないため、私たちも語り続けます。

10月10日 四街道教会の皆さま

10月23日 東京南支区の皆さま

10月28日 北海道クリスチャンセンターの皆さま

11月19～20日 キリスト教保育所同盟の皆さま

12月15日 高野山真言宗福島視察団の皆さま

「　私と3.11　　No.1　」　　齋藤久美子さんの被災体験

2011 年３月 11 日。想像していなかった恐ろしい大地震に見舞われたあの日私たちにはそれぞれの貴重な体験がありました。センター会員の体験を、今回はインタビュー形式で二回にわたり掲載します。齋藤久美子さんは、喜多方市から車で仙台まで出かけた先で地震に見舞われます。今回はその時の状況をお伝えします。

帰宅困難者となった私

Q. 2011 年３月 11 日午後２時 46 分、地震のあった時間はどこにいらっしゃいましたか？

A. その日は用事があって、友達と一緒に私の車で仙台に出かけていました。地震が起きた時、私はビルの１階にいて、とっさに大きなテレビの脚につかまり外のビルが波打っているのを見ながら、５階にいる友達のことを心配していました。長い揺れの後、友達と再会した時は本当にほっとしました。５階では激しい揺れで棚が全部倒れてきて、友達はとても怖い思いをしたそうです。

地震の後、停電になり、車は立体駐車場に停めていたので出せなくなってしまいました。他の交通手段もみんな止まってしまい、喜多方に帰ることができなくなってしまいました。

Q. その晩はどこで過ごされたのですか？

A. 車を停めていた立体駐車場の管理人室は蓄電器があって電気がついていました。管理人さんは、帰れなくなった私たちに管理人室でひと晩過ごさせてくださいました。その時携帯のワンセグを見て、ただの地震ではなく、その後の津波で大勢の方が流されたことを知りました。コンビニでも並びましたが、食べ物を買うことができず、小学校でおにぎりを配っていると聞いて行きましたが、無くなっていました。友人が作った残りひとつの昼のお弁当を５人で分けて食べました。管理人さんが床にブルーシートを敷いてくださいましたが、とても寒く、女性５人でくっついて寝ました。

Q. 翌日はどうされましたか？

A. 次の日は知り合いに会うことができ、その知り合いの友人宅に泊めていただくことができました。仙台市内は電気・ガス・水道は止まっていましたが、卓上カセットコンロは使えたので、私が土鍋でご飯を炊きました。畳の上で布団に寝せていただき感謝しました。見知らぬ者同士が協力して過ごしました。余震が続き怖い思いの中でも一体感があり、心は豊かになった気持ちもありました。主人とも公衆電話でようやく連絡が取れ、翌日迎えに来てくれることになりました。

Q. 13 日にはご主人と再会できたのですね。

A. 主人が車にお米や水・野菜・ガスコンロなどをいっぱい積んで仙台まで迎えに来てくれました。ちょうど立体駐車場から私の車を出すことができたので、車２台で喜多方に帰り着くことができました。駐車場で一晩一緒に過ごした宮城県亘理町の女性は「家が流された。犬を置いてきてしまった。」と何度も言っていたのが印象的でした。土地勘のない仙台で地震に遭い被災者となったことが、その後の私の生き方の方向性を決めるきっかけとなりました。

■2015 年 10 月～2016 年１月活動報告＆2、３月予定■

■10月
2日　脱原発＆憲法学習会＠両沼･耶麻地区教職員組合
　　30名　片岡輝美
4日　報告＠幕張教会40名　片岡輝美
5日　センター10月役員会
10日　来館：四街道教会12名
12～13日　報告＠北海教区教職講座30名　片岡輝美
14日　報告＠北海道クリスチャンセンター15名 片岡輝美
15～17日　山崎知行医師を囲む会5名＆個別相談
17日　しゃべり場＆小林恒司医師心の健康相談会12名
21日　会計監査
23日　来館：東京南支区10名
28日　来館：北海道クリスチャンセンター7名
31 日　第 5 回会津放射能情報センター総会 15 名

■11月
7日　報告＠青森チャイルドライン12名　片岡輝美
11日　来館：愛知教会9名
11日　発題＠ワイズメンズクラブ4名　片岡輝美
13日　来館：大阪教区6名　山崎知行医師個別相談3名
14日　しゃべり場9名　小林恒司医師心の健康相談会2名
15日　報告＠東所沢教会60名　片岡輝美
19～20日　来館：キリスト教保育所同盟･京都12名
29 日　報告＠須磨教会 40 名　片岡輝美

■12月
1日　子ども脱被ばく裁判第3回口頭弁論
4日　日本キリスト教団青年国際会議in京都準備会
　　＠放射能問題支援対策室いずみ片岡謁也･輝美
7日　センター12月役員会
10日　しゃべり場7名
11日　中里見博さん学習会「原発事故と人権」24名
12日　中里見博さん講演会「原発･戦争法･憲法」35名
12日　中里見博さん学習会「戦争法案が通った!どうなる?
　　私たちのくらし」27名
15日　来館：高野山真言宗福島視察団18名
18日　子ども脱被ばく裁判応援カレンダートーク＠大阪
　　片岡輝美
19日　生活クラブ甲状腺検査見学　酒井恭子･渡邉純枝
25日　センター大掃除　大人12名子ども7名
26 日～センター冬期休館

■1月
7日　センター開館
9日　報告@福島の今を聴く会・東京87名
10日　報告@早稲田教会合同婦人会62名
11日　現状報告＠西中国教区宣教セミナー66名
13日　センター役員会
15日　山崎知行医師健康相談会9名
16日　しゃべり場7名
　　小林恒司精神科医健康相談会2名
16日　子ども脱被ばく裁判意見交換会＠郡山23名
　　片岡輝美
21日　センターHP英語翻訳打合せ＠東京片岡輝美
22日　現状報告@生活クラブ埼玉50名
28日　日本キリスト教団青年国際会議in京都
　　準備会@教団本部 片岡謁也･輝美

■2 月活動予定
8 日　センター2 月役員会＆懇談会
　　「これからのセンター活動を考える」
18～20 日　山崎知行医師個別相談会
20 日　しゃべり場　小林恒司医師心の健康相談会
20 日　報告＠おもてなし福島通訳ガイドの会研修
　　会　片岡輝美
25 日　子ども脱被ばく裁判第 4 回口頭弁論

■3 月活動予定
5～6 日　高里鈴代さん対談「沖縄と福島、いま私
　　たちはここで生きている」
　　＠よつ葉春の交流会･兵庫県尼崎市　片岡輝美
11 日　東日本大震災を覚える日
18 日　教団青年国際会議 in 京都準備会
　　＠放射能問題対策室いずみ
19 日　報告＠名古屋キリスト教協議会　片岡輝美
20 日　報告＠南山教会　片岡輝美
25～26 日　センター主催「春のお泊まり会」
　　＠会津若松・大江戸温泉
29 日　報告＠教団宣教師会議・仙台市　片岡輝美

■　感謝報告（2015年09/16~2016年01/20）■

いつも当センターをお支えくださり、ありがとうございます。

敬称は略させていただきます。また、特記なき教会はすべて日本基督教団です。万が一記載落としがありましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

（個人）

ニコラ･グロウヴ　前川圭子　依光隆明　向井武子　見満かおる　小野洋子　青木宏子　立岩秀彦　石橋宗明　林京子　高橋幸子　大田八千代　横山恵子　横山義弘　渡邉純枝　岩髙澄　加藤陽子　幡江美智子　新井ななえ　鈴木善実　藤吉求理子　村上和･和子　林誠子　鈴木摩耶子　髙橋君子　小西二巳夫･文江　松尾みつ子　斉藤成二　石川宣道･まなか　山崎知行　中山拓治　平岡昭子　宮崎ひろ　木幡ますみ　三浦忠雄･ゆかり　大中伸子　佐々木美知夫　安井修二　大木正人　加藤陽子　ジェフリーメンセンディーク　ジャイルズ恵　居谷教子　ロバート･圭子ウイットマー　古賀悦子･名取克子　渡邊文子　中川宗洋･葉子　中林正剛･ひかり　北垣成子　石渡千賀子

（団体）

長崎鉤之浦教会　長崎地区共育部　四街道教会　上岩出診療所　幕張教会　岩国教会　坂戸いずみ教会　大阪中部地区　四国教区　中予分区教会婦人会連合　北海教区東日本大震災支援委員会　南支区東日本大震災被災地救援活動委員会　伊丹教会SS　愛知教会　神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」　交野教会　東所沢教会　東所沢教会　愛光保育園　大阪教区スタディツアー2015　東神戸教会野の花の会　南天荘画廊「賢次展」G様　函館千歳教会　屋島教会　新発田教会　藤沢大庭教会　甲東教会　大泉ベテル教会　日本ルーテル教会関東地区婦人の集い　東所沢教会　玉出教会　宿河原教会　横浜地区婦人委員会　矯風会安中　下ノ橋教会　東京YWCA千葉ルーム一同　京都西田町教会　高野山真言宗総本山金剛峯寺　仙台北三番丁教会　新潟教会　久万高原キリスト教会　倉吉教会付属恵保育園　保内教会　みどり保育園　美唄めぐみ幼稚園　松山東雲女子大学松山東雲短期大学キリスト校センター　山梨英和中学校･高等学校　東梅田教会･教会がっこう　東梅田教会　青山教会CS　大阪西淀川教会　須磨教会　岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり　水元教会　滝川二の坂伝道所　兵庫松本通教会　甲子園教会　震災支援グループ麦の会　今治教会　草津教会　共同世界宣教（CGMB）　池田キリスト教会　廿日市教会土曜子供会＆中高生の集い　春日東教会　港南希望教会婦人会　北光幼稚園　イエス団みどり野保育園　宮古教会　SOWERS　美唄教会　岡山教会CS　甘楽幼稚園　高槻南平台教会　早稲田教会福島の今を聴く会　小山友の会　OVA実行委員会　奥中山教会　名古屋中央教会　水戸教会　中野桃円教会　のぞみ学園･天使幼稚園　熱田教会　鈴蘭台教会　甲山教会　倉吉教会　鎌倉恩寵教会　長崎銀屋町教会　神戸教会　三津教会　港南台教会子どもの教会　岡山教会　八日市教会　札幌北光教会　高石教会　兵庫教区女性会（日韓交流信徒大会）　柳井教会　経堂緑岡教会　富士見高原教会　洲本教会　神戸雲内教会　宇部教会　酪農学園

（支援品）

榮まり子　中村純子　千歳栄光教会　中村純子　四国教区　小沼紘美　山階顕雄　中標津伝道所　札幌北光教会　島松伝道所　BIG FAMILY FARM 一ノ瀬　加藤陽子　中村純子　太平こどもの家　千歳栄光教会　利別教会　室蘭めばえ幼稚園　九州ラバーズ長崎：鳥栖・牧瀬　山崎知行　花巻教会　川村 邦彦　熊野ナオミ　稲垣喜子　元江別わかば幼稚園　土谷直穂実　札幌北部教会　久保田護　遠州栄光教会　中村純子　長野進　野中麗　EDEN United Churchof Christ

＞＞＞センターからのお知らせです

会員募集と年会費納入に関するお願い

■これまでのお支えに深く感謝いたします。
会費や協賛金のご送金は、なるべく「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用ください。納付状況などご不明の点があれば、センターまでお問い合わせください。また、払込取扱票をお入り用の方もご連絡ください。

･年会費：個人 3000 円　　団体：5000 円
･振込先：払込取扱票の記載は下記の通りです。
02270　2　116030　　会津放射能情報センター

■従来の口座（下記）もご利用できます。事務処理の関係上、お振込みの際はその旨センターまでご一報ください。

ゆうちょ銀行口座　18260　14694481
会津放射能情報センター
他行･ATMから　　店番 828　普通 1469448

■センター連絡先
tel＆fax　　0242-23-9401
携帯　　080-6015-8036
メール　　info@aizu-center.org

メーリングリスト（ML）登録に関して

■ML はセンターからのお知らせや会員同士の情報をネット上で交換する場です。登録された方には滞りなく届いているでしょうか。最近、届かなくなったなどの不具合が生じた場合には、センターまでご一報ください。

メールアドレスとホームページ関して

■メールアドレスが変わりました。
info@aizu-center.org

■ホームページを刷新することになりました。ついては現在は閲覧できない状態ですが新しいホームページは２月末に開設できるようにただ今準備中ですので、今しばらくお待ちください。

＜次のプログラムは協賛金によって行われています＞

食品測定・健康相談会・尿検査・保養プログラム・にいがたはうす宿泊・学習会・裁判支援など

センターの大掃除

12 月 25 日子どもたちも一緒にセンターの大掃除。そのあと、お楽しみのお疲れさまパーティー。美味しい手作りピザに舌鼓をしました。

支援品の数々

沢山の支援品をお寄せいただきました。
嬉しかったり、美味しかったり。本当にありがとうございます。

～編集後記～　今年の会津はびっくりぽん！の小雪の冬です。生活するには本当に楽！！（朋）